

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

| | | | | | | | | | |
|----------------|-------------------------------------|-------------|----|---------|------|------------------|-----|-----|----|
| 授業科目名 科目コード | 英語 I C (English I C) 2011011-011 | | | | 担当教員 | 関 義夫 (セキ ヨシオ) | | | |
| 科目区分 | 教養科目 | 必修・ 選択区分 | 必修 | 単位 数 | 2 | 配当年次 | 1年次 | 開講期 | 通年 |
| 科目特性 | 資格対応科目 TOEIC / 知識定着・確認型 AL | | | | | | | | |

① 授業のねらい・概要

1年次配当科目「英語 I C クラス」は、「TOEIC テスト」対策を念頭に置きながら、基礎的知識の再確認を行う基礎レベルのクラスである。比較的易しい練習問題を解くことにより、(大学レベルの) 基礎的な英語力を身につける。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

コミュニケーション能力

③ 授業の進め方・指示事項

- 練習問題を解いて答え合わせ、解説を行う。必要に応じて、関連する補足説明も行う。
- わからない単語は事前に辞書で調べてくること。必ず復習をし、正解できなかつた問題に関しては正解できなかつた理由を十分考え、理解すること。
- 長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」での自習も忘れないこと。
- 夏休みの宿題がある。提出しないと減点 30 点。単位取得が難しくなる。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

特になし。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (大学レベルの) 基礎的な英語を理解できる。主語と動詞の一致、自動詞と他動詞、時制（現在、過去、未来）、助動詞、進行形、完了形、受動態、不定詞、動名詞、比較、分詞構文等の用法を理解し、運用できる。
- 文法用語を理解できる。(長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」の学習を含む。)

⑥ テキスト（教科書）

- 小宮徹ほか（最新版）*Grammar Plus*（大学英語『グラマー・プラス』）、南雲堂
- 語学教育教材開発研究会編（最新版）*Word Builder*（『基礎から学ぶ TOEIC テスト英単熟語』）、南雲堂

⑦ 参考図書・指定図書

Educational Testing Service(2020)『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7』国際ビジネスコミュニケーション協会

| ⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法 | | | | | | | | |
|------------------------------|---|------|--------------------|------|-------|-----------|-----|------|
| 具体的な学習到達目標 | 試験 | 小テスト | 課題 | レポート | 発表・実技 | 授業への参加・意欲 | その他 | 合計 |
| 総合評価割合 | 85% | | 未提出 は減点 30 点 | | | 15% | | 100% |
| (i) (大学レベルの) 基礎的な英語の理解 | 85% | | | | | | | 85% |
| (ii) 文法用語の理解 (米百俵ドリルを含む) | | | | | | 15% | | 15% |
| フィードバックの方法 | 学習の進捗状況(米百俵ドリルを含む)を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、授業内容の関連箇所での解説時に配慮する。 | | | | | | | |

| ⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等） |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 授業内容を記したシラバスをよく読み、自主的に予習・復習をしっかりして、教室以外での勉強時間を十分確保してほしい。 「失格」評価にならないよう出席に関して十分自己管理を行うこと。 |

| ⑩ 授業計画と学習課題 | | | | |
|-------------|-------------|-----------|---|------|
| 回数 | 授業の内容 | 持参物 | 授業外の学習課題と時間（分） | |
| 1 | TOEIC テストとは | テキスト、筆記用具 | TOEIC テスト関連の配付プリント、テキスト全体に目を通して、TOEIC テストの概要について理解する。 | 60 分 |
| 2 | 現在形、過去形 | テキスト、筆記用具 | テキスト p.8、p.12、p.16 の予習・復習 | 60 分 |
| 3 | 練習問題 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.9-15 の予習・復習 | 60 分 |
| 4 | 現在完了形 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.17-19、p.100 の予習・復習 | 60 分 |
| 5 | 代名詞 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.20-21 の予習・復習 | 60 分 |
| 6 | 練習問題 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.22-23 の予習・復習 | 60 分 |
| 7 | 前置詞 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.24-27 の予習・復習 | 60 分 |

| | | | | |
|----|-----------|-----------|-------------------------|------|
| 8 | 進行形 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.28-29 の予習・復習 | 60 分 |
| 9 | 練習問題 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.30-31 の予習・復習 | 60 分 |
| 10 | 名詞と冠詞 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.32-35 の予習・復習 | 60 分 |
| 11 | 助動詞 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.36-37 の予習・復習 | 60 分 |
| 12 | 練習問題 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.38-39 の予習・復習 | 60 分 |
| 13 | 提案と命令 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.40-41 の予習・復習 | 60 分 |
| 14 | 練習問題 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.42-43 の予習・復習 | 60 分 |
| 15 | 前期まとめ | テキスト、筆記用具 | 各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習 | 60 分 |
| 16 | 未来形 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.44-47 の予習・復習 | 60 分 |
| 17 | 疑問文と付加疑問文 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.48-51 の予習・復習 | 60 分 |
| 18 | 形容詞 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.52-55 の予習・復習 | 60 分 |
| 19 | 比較 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.56-59 の予習・復習 | 60 分 |
| 20 | 副詞 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.60-63 の予習・復習 | 60 分 |
| 21 | 不定詞 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.64-67 の予習・復習 | 60 分 |
| 22 | 動名詞 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.68-71 の予習・復習 | 60 分 |
| 23 | 接続詞 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.72-75 の予習・復習 | 60 分 |
| 24 | 受動態 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.76-79 の予習・復習 | 60 分 |
| 25 | 形容詞節 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.84-87 の予習・復習 | 60 分 |
| 26 | 副詞節 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.88-91 の予習・復習 | 60 分 |

| | | | | |
|----|-------|-----------|-------------------------|------|
| 27 | 名詞節 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.96-99 の予習・復習 | 60 分 |
| 28 | 仮定法 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.92-93 の予習・復習 | 60 分 |
| 29 | 練習問題 | テキスト、筆記用具 | テキスト pp.94-95 の予習・復習 | 60 分 |
| 30 | 後期まとめ | テキスト、筆記用具 | 各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習 | 60 分 |

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。練習問題を解き、要点を解説することによって、知識の確認及び定着を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性